

学校教育目標	「知恵だせ 汗だせ 明るい子」 ○自分の課題をもち、その解決に向けて取り組み、学び続ける力を育てます。(知) ○自分や友達のよさを認め合い、自己肯定感や自己有用感を育てます。(徳) ○自分の生活を見つめ、心身の健康増進する力を育てます。(体) ○地域の人やものを大切に、共に生きていく力を育てます。(公) ○多様性を尊重し、社会と進んでかかわる力を育てます。(開)				
	学校概要	創立 52 周年	学校長 今村 公子	副校長 横山 喜利穂	2 学期制
児童生徒数: 193 人		主な関係校: 鴨居中学校・緑小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する能力〉 〈問題発見・解決能力〉	鴨居中学校 緑小学校 竹山小学校	○自ら進んで学ぶ児童生徒 ○カリキュラム・マネジメントをブロック協働で行い、9年間通じて児童生徒を育成する。 ○「問題発見・問題解決の能力を育てる指導法の工夫」をブロック合同授業研究のテーマとし、各教科・領域においてテーマを意識した授業改善に取り組む。 ○児童生徒理解をさらに深めるために、随時情報交換会を行う。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○他者との関わりを通して、自己有用感を高める学びを充実させます。 ・1年目は特に学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ・2年目は他者と学ぶ楽しさを実感し、主体的に学ぶ力を育てます。 ・3年目は豊かな学習体験を繰り返すことで、自己有用感を高めることができるようにします。 <p>○竹山の「まち」や「人」との活動を通してつながりを意識し、竹山の「まち」を愛する心を育てます。</p>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①「自ら進んで学ぶ子を目指して～相手意識、目的意識をもって、学ぶ楽しさを実感させる授業づくり～」のテーマで授業研究を進め、学ぶ楽しさが実感できる授業改善を図る。 ②基礎・基本の定着を図るために、授業のユニバーサルデザイン化を図る。
徳 道徳教育	①道徳や横浜プログラム等を通して、自分や友達のよさに気付いたり、社会的スキルを身に付けたりして、自己肯定感や自己有用感を高めていく。②様々な「ひと・もの・こと」にかかわり、体験的な活動を通して、自己有用感を高め、自他を認め合う心を育てる。
体 健康教育	①朝のラジオ体操や運動委員会による競歩、縄跳び等の活動を通して、肥満の改善、体力向上を図る。 ②学校保健委員会等の活動を通して、自分の健康状態を把握して、健康を意識した生活を送るようにする。
公 自分づくり教育 (キャリア教育)	①めあてをたてたり、振り返りたりする活動を通して、自分自身の変容や成長を自己評価できるようにする。 ②生活、総合の授業を中心に、各教科で社会のつながりを意識し、自ら社会に働きかけられるようにする。
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会を中心に、情報共有、早期発見・迅速で丁寧な対応、未然防止・再発防止に取り組む。 ②誰が指導してもよい環境をつくり、全職員が危機管理意識や人権感覚をもって指導にあたる。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①週に1回ずつ、教務会及ブロック研を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく。 ②研修会に積極的に参加したり、校内研修の充実を図ったりして、自己の資質・能力を高めるとともに組織力の向上を図る。
特別支援教育	①学習指導スタンダードを参考に、誰もがユニバーサルデザインの考えを取り入れた学習環境整備をする。 ②外部機関と連携を図り、一人ひとりに応じた適切な指導・支援につなげていく。
児童生徒指導	①年度当初に確認したスタンダードを定期的に確認し、同じ目線で児童指導を行っていく。 ②生活指導年間指導計画をもとに、挨拶や基本的な生活習慣等、必要な生活指導を行っていく。
担当	
担当	
担当	